



進路だより エスカレーション

No.2
2025. 6.6

6月4日(水)の授業で指導した内容を掲載させていただきます。11日(水)の進路説明会の事前学習として行いました。保護者のみなさんもぜひ、お読みいただけたら幸いです。

① 公立高校と私立高校の違い

公立高校は、千葉県が設置し、多くの場合税金による公的資金で運営されていて、**その都道府県の在住者のみしか受験できないことがほとんどです。**

また、地域によっては**学区制があり受験できる学校が限られます。**

公立高校を大きく分けると、普通科と専門学科に分かれますが、最近は普通科目と専門科目の多様な科目の中から自分の興味・関心・進路希望に合わせて幅広く学習が出来る総合学科や専門学科の高校が増加傾向にあります。

公立高校の普通科では2年・3年生の進学时に希望進路に合わせて文系・理系のクラス分けが行われますが、私立高校のように細かくはありません。

公立高校も私立高校ほどではないにしても、各学校によって校風は異なります。

部活動が盛んな高校、ほとんどの生徒が大学進学を目指している高校、地域活動に積極的な学校などその高校の特色があります。

私立高校に比べると**学費が非常に安い**のが大きな特徴です。

私立高校は、独自の特色ある教育をしたいという志をもつ人々が、**自分の財産や賛同してくれる人々からの寄付を集めて作る学校**のことです。

それぞれの私立学校では、国民の希望や期待も考えて、特色のある教育や研究がおこなわれています。

私立高校では建学の精神や理念によって、その校風は多種多様です。

私立高校では、普通科の中をさらに細分化し、特進コース・進学コース・文理コースなど、**目標とする大学に合わせてカリキュラムを組んで進学指導体制を整えている**高校が増えているのが特徴です。

また、**部活動などで非常に優れた実績**を持つ高校、心の教育に力を入れている高校など、進学実績だけでなくさまざまな角度から学校選びができるのも私立高校の魅力。

私立高校は学校の数だけ校風・特色などスタイルが違います。

公立高校と私立高校の違いを表にまとめてみました！

目	公立高校	私立高校
運営母体	都道府県、市区町村	学校法人
費用	授業料は、無償	年間約40万円程度※来年度変更あるかも？
設備	古い設備も少なくない	校舎や設備が充実していることが多い
部活動	文武両道を目指すことが多い	強豪校が多い
勉強	自ら積極的に学習する必要がある	課題が多く、サポートが手厚い
コースの種類	コース数が少ない	コース数が多く、目標に合わせ学習が可能
受験傾向	調査書と学科試験の両方が重要	学科試験を重視する傾向
受験教科数	5教科(英数国理社)が必要	3教科(英数国)で受験可能な場合が多い
受験数	原則1校のみ	併願可能
大学推薦	推薦枠は比較的少ない場合がある	指定校推薦などの推薦枠が多い
進路指導	生徒の自主性に任せる	個別の進路指導が充実
教育カリキュラム	一定の標準カリキュラム	独自のカリキュラム(特別プログラムあり)
教育方針	公立学校の方針に従う	学校独自の教育理念や方針
授業時間	標準的(文部科学省の指導に基づく)	多様(課外授業や補習あり)
校風	地域の伝統や風習に影響	独自の校風や教育理念が強い
制服	標準的なデザインが多い	多様なデザイン(デザイナーによるブレザーなど)
寄付金・募金	ない	募金や寄付金の募集がある場合が多い
修学旅行	国内が中心	海外に行く高校もある
近場の学校	佐倉高校 佐倉西高校 佐倉東高校 佐倉南高校 成田国際高校 八千代高校 千葉高校など	千葉英和高校 東京学館高校 八千代松陰高校 成田高校 千葉経済高校 秀明八千代高校など

表面の表から、公立高校と私立高校には大きく分けて3つの主な違いがあります。
まず、**学費の違い**です。**公立高校は、経済的な負担が比較的軽いのが特徴です。**一方、**私立高校は学費が高く、その分、充実した施設や特色ある教育プログラムが用意されています。**
次に、**教育カリキュラムの違い**があります。**公立高校は文部科学省の指導に基づいた標準化されたカリキュラムを採用。私立高校は独自のカリキュラムで、特別プログラムや最新の教育手法を取り入れることが多いです。**最後に、**進学実績の違い**が挙げられます。
これらの違いを理解することで、自分の目的や状況に合った高校選びがしやすくなるでしょう。

②全日制と定時制と通信制の違い

全日制・定時制・通信制の違いは？

「**全日制**」「**定時制**」「**通信制**」の大きな違いは、学校と授業の仕組みです。つまり、**いつ、どこで、どのように授業が行われていくのか**が大きく違います。

全日制

一般的に、多くの人が進学する全日制高校は、小中学校と変わらない学校生活を送っていくようなイメージです。**週5日間学校に通い、クラスで一斉に授業を受けます。**

学年制をとっている高校が多いですが、単位制をとる学校も多くなってきました。学年制だと、その学年で取得しなければいけない単位が足りないと、留年することがありますが、単位制だと、卒業に必要なカリキュラムを自由に組み合わせ授業を受けられ、在学中に取得できれば卒業することができます。

定時制

定時制高校は**夜に授業を受ける学校**とイメージしがちですが、**昼に授業を受ける学校、昼から夜にかけて授業を受ける学校**もあります。(佐倉南高校定時三部制)

午前部…全日製の登校時間で4時間授業

午後部…昼からの登校時間で4時間授業

夜間部…夕方からの登校時間で4時間授業

全日制高校と同じように**クラスに分かれ、一斉に授業**を受けます。定時制高校は全日制に比べ、1日の授業時間が少ないため、4年が前提とされてきましたが、前の部の2時間や後ろの部の2時間などの授業に出て単位を取得するという単位制を導入しており、**3年で卒業することも可能**になってきています。

入試は、全日制と比べ、少ない教科での学科試験もしくは面接や作文のみの場合が多いので、勉強が苦手な人でもチャレンジしやすい入試スタイルとなっています。

通信制

通信制高校の大きな特徴は、**毎日学校に通い授業を受ける必要がない**ことです。

主には**自宅学習とレポート提出**が中心で、学校にもよりますが、**週に数回の通学**となります。単位制をとっている学校がほとんどで、在学中に必要な単位を取得すれば卒業ができるので、自分のペースで自由にカリキュラムを組み合わせていくことができます。

学校に行くことが少ないので、大勢の中で過ごすのが苦手な人でも安心できる環境です。また、現役スポーツ選手や現役芸能人も通う人が多くなってきました。

学べる内容もバラエティ豊かです。専門性に特化したコースを選択できる学校が多く、自分の夢に向かってダイレクトに学んでいくことができます。

入試は、主に書類選考、作文、面接が多く、学科試験を課さない学校が多いでしょう。

現在きている学校説明会

公立高校

学校名	日	時	内 容	予約方法	締切
市川工業高校	6/21(土)	9:00	学校説明会	Web予約	6/16
八千代東高校	8/20(水)	21(木)	学校説明会	Web予約	

私立高校

学校名	日	時	内 容	予約方法	締切
千葉学芸高校	8/3(日)	10(日)	学校説明会	Web予約	5日前
千葉聖心高校	8/23(土)		保育コース体験会	Web予約	
千葉英和高校	8/21(木)	22(金)	学校説明会	Web予約	7月下旬公開
東葉高校	8/22(金)	23(土) 11:30~14:00	野球部体験会	Web予約	参加同意書が必要
八千代松陰高校	7/19(土)	8/7(木) 8/20(水)	学校説明会 (対面)	Web予約	

公立高校と私立高校の違い：入試編

「公立高校と私立高校の違い」20項目を比較！向いている子の特徴は？

公立高校と私立高校の入学試験の違いについてまとめてみました。

以下のポイントについて説明しています。

公立高校と私立高校の受験の違い

公立高校と私立高校の内申点の違い

公立高校と私立高校の推薦の違い

公立高校と私立高校の受験の違い

公立高校と私立高校では、入試の受験科目が大きく違います。

公立高校の場合、一般入試の受験科目数は国語・数学・英語・社会・理科の5教科です。

私立高校では「英語」「数学」「国語」の3教科で入試が行われます。

試験の内容も大きく異なり、公立高校では基礎的な学力が試されるため、教科書の内容を理解して入れば解ける問題ですが、私立高校では教科書レベルを超えた難問が出題されるケースがあり、応用力が求められます。

一部の公立高校の入学試験ではオリジナルの問題が出ることがありますが、基本的に自治体ごとに共通の問題が出題されます。

また、公立・都立試験の内容は、約70%が中学2年3学期までの内容です。

「公立高校と私立高校の違い」20項目を比較！向いている子の特徴は？

参考記事：中学生向けに月謝が安い！オンライン家庭教師おすすめ17選

公立高校と私立高校の内申点の違い

公立高校では、入試の可否の判定に内申書の内申点が大きく影響してきます。

内申書は、基本情報の他、中学3年間の成績や各教科の学習の記録や学校生活、部活動の記録などが記載されています。

公立高校の可否は、当日の試験の結果と内申書を総合的に判断して決定されるのです。

したがって、公立高校では内申点を意識した対策が必要になる。

一方、私立高校の一般入試では、当日の試験の結果で可否が判定されています。

もちろん、内申書は受験する高校に提出されますが、基本的には内申点が可否に係わることはほとんどありません。

公立高校に向いている人の特徴
公立高校に向いている人の特徴は、以下のとおりです。

学費を抑えて高校生活を送りたい人
学校の教育方針やカリキュラムにこだわらない人
学校の校風や生徒の雰囲気が自分に合っている人
部活動や学校行事に打ち込みたい人
公立高校は、私立高校に比べて、学費が安い傾向があります。

そのため、学費を抑えて高校生活を送りたい人には、公立高校がおすすめ。

また、公立高校は、私立高校に比べて、学校の教育方針やカリキュラムが自由度が高いことが多い。

そのため、学校の教育方針やカリキュラムにこだわらない人にも、公立高校がおすすめ。

さらに、公立高校は、学校の校風や生徒の雰囲気が、地域によって異なります。

そのため、学校の校風や生徒の雰囲気が自分に合っているかどうか、公立高校を選ぶ際に重要なポイント。

最後に、公立高校は、部活動や学校行事が盛んなことが多いです。

そのため、部活動や学校行事に打ち込みたい人にも、公立高校がおすすめです。

私立高校に向いている人の特徴
私立高校に向いている人の特徴は、以下のとおりです。

勉強に意欲があり、高い学力を身につけたいと思っている人
学校で様々なことに挑戦してみたいと思っている人
学校の教育方針やカリキュラムに共感している人
学校の校風や生徒の雰囲気が自分に合っている人
学費を払える人
私立高校は、公立高校に比べて、学費が高い傾向があります。

そのため、学費を払えるかどうかは、私立高校を選ぶ際に重要なポイント。

また、私立高校は、公立高校に比べて、学校の教育方針やカリキュラムが独自のものであることが多い。

そのため、学校の教育方針やカリキュラムに共感できるかどうか、私立高校を選ぶ際に重要なポイントです。

「公立高校と私立高校の違い」20項目を比較！向いている子の特徴は？